

		イメージ	コトバ
12	日常1 記憶のカケラ フラッシュバック	<p>下手に腕組みをして立っている。部屋なのか外なのかよくわからない場所 (長い)</p> <p>↓</p> <p>楽しくステップする記憶が突然あらわれる。</p> <p>↓</p> <p>元の位置まで戻ってきて再度腕組みの時間に入る (長い)</p> <p>↓</p> <p>さっきのステップの時間がより大きくあらわれる。1回目より短く</p> <p>↓</p> <p>ステップの途中で腕組みしながら元の位置まで戻って腕組み (短く)</p> <p>↓</p> <p>かかっている鏡を見に行く。軽快さを出して</p> <p>↓</p> <p>元の位置に戻ってくる途中で左足つま先の微かな記憶。すぐ戻って腕組み</p> <p>↓</p> <p>腕組みしたまま細かなステップがふと入る。空間も移動しつつ、次第に肩に抵抗を感じる。</p> <p>↓</p> <p>上手奥で記憶の時間がSTOPし、腕組みしたまま大きく空間を鏡まで横断。鏡で再度、髪、肌、チェック。 他にすることもなく、後ろにひっくり返り、左足を上に放置してみる。</p> <p>↓</p> <p>元に戻ってきて腕組み。部屋の中。(長く)</p> <p>↓</p> <p>毎朝の支度、ストッキングを履くときの嫌な記憶がふとあらわれる。 打ち消すように腕組みに戻るが、身体の重い、嫌な記憶が数度あらわれる</p> <p>↓</p> <p>腕組み</p> <p>↓</p> <p>現実逃避でだれかに寄り添う感覚があらわれる</p>	
18	妄想1 過剰な妄想	<p>寄り添った相手から拒否される。はじかれる。 そばに近づいてもはじかれる。いろんな人からはじかれる。 世の中全てからはじかれていくような妄想。</p> <p>↓</p> <p>妄想から醒めて部屋で足を開いて立っている。立っている場所が、腕組みしてた場所から少しずれている。平気ぶる。</p> <p>↓</p> <p>左足に履かれたストッキング。ストッキングを履いた左足をみんなに見せていく。 女らしい自身の姿が嬉しい。社会で働いている自身の健全が嬉しい。</p> <p>↓</p> <p>客前まで左足を見せ付けた後、腕組みに戻るが、興奮の熱を帯びている。</p>	コトバ1
30	妄想2 壊れてくる	<p>朝の支度。ストッキングを履こうとするが、履けない。身体がリズムを打っているストッキングを履けないトントントントン、不安感のトントントントン。急いでいるときに履けない焦り。準備しなくてはいけない強迫観念。必死に履く。</p> <p>↓</p> <p>周りは暗闇。唯一、私の頭上で星が輝いている。輝く星しかない。少し不安が取り除かれてくる。取り除こうとする。</p> <p>↓</p> <p>断ち切って、鏡を見に行く。ジャンプしながら。クリームを顔に塗りたくっている。かと思えば、空間を大きくジャンプする。外に恨み・ストレスを発散させながら。</p> <p>↓</p> <p>突然、下に腹を地につけ倒れこむ。今日は敗北してとても立ち上がって来れない。これでもか、これでもかというくらい腹で地に黒星を描き続けてやる。自嘲。</p>	コトバ2 コトバ3
36	妄想3 追い詰められる	<p>妄想でへとへとになっているが、腕組みをして、健全な日常に戻ろうとする。興奮で口も開いてしまうし、顔もこわばっている。</p> <p>↓</p> <p>「どんな苦難も困難も人間関係も女性はおらかに笑顔で」を思い出し、笑顔をつくる。現実逃避したい、はじかれる、時間にせまられる、笑顔で、急がなきゃいけない、お星さま助けて、でも頑張る、やっぱり逃げたい、逃げちゃだめ、寄り添える幸せな記憶、焦り、希望、が身体の中で交錯してきて、我慢が限界にいたる</p>	
39	制御不能	腕組みして、健全な日常に戻ろうとするが、大きくのけぞったまま、顔が壊れてる。	

